

大河原町 明日の青少年を育てる会 2025. 2. 3

明日青ニュース



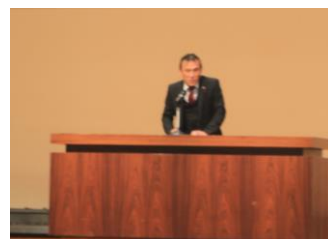
大河原町「明日青のつどい2024」を開催



齋 清志会長

令和6年12月14日(土) 13:30より大河原町中央公民館において、大河原町明日の青少年を育てる会主催の「明日青のつどい2024」が開催されました。

開会式において、齋清志会長(町長)のあいさつの後、大河原町議会議員岡崎隆様、大河原警察署署長代理生活安全課長の大山健太郎様にご祝辞をいただきました。



岡崎隆町議会議員



大河原警察署生活安全課
大山健太郎課長

おおがわらデジタルメディアスローガンの発表



2回のスチューデントサポーターサミット参加者から発表者児童生徒達です。(敬称略)
大河原中(遠藤大晴, 日下泰地, 吉田陽咲, 佐藤怜, 半沢一晟)大河原南小(鈴木晴久, 八重樫宣親, 森菜緒)
金ケ瀬中(免内仁紀, 宮東佳那, 穴澤知也)金ケ瀬小(菊地はいら, 菊地礼大, 森岡煌成)大河原小(倉繁楓翔)



令和6年9月5日と11月5日におおがわらスチューデントサポーターサミットを開きました。各小中学校の児童生徒の代表、各校代表教諭、PTA会長、町の組織の代表など約60人が集まり話し合いを行いました。

第1回目では、「おおがわらルール」から約10年が過ぎ、現在の情報機器の良さと気をつけなければならないことを各学校で話し合い、サミットで確認されました。長時間使用などがなかなか改善されない現状を打破しようと、各学校で「おおがわらデジタルメディアスローガン」を2回目までに考えてくることになりました。

第2回目のサミットでは、各学校で考えてきたスローガンを発表し、そのスローガンが生まれた背景や理由などを説明して、どのスローガンにしたら良いかグループで考え、みんなで考え決定しました。

情報機器を使うとよい点

- 分かりやすく正確に情報を知ることができる
- 離れた人とでもコミュニケーションが取れる
- タブレットで楽しく学習できる

気を付けなければならない点

- 時間を忘れて使いすぎてしまう
- 個人情報を公開して事件に巻き込まれる
- 心無い言葉遣いでトラブルに発展

おおがわらメディアスローガン各学校案(令和6年)

「みんなで守ろう つなごう 楽しもう メディアの未来を明るく！」
大河原小学校
「目指せ トラブル0! ~ひとつひとつのマナーを守って~」
大河原南小学校
「タブレット 悪用0 実現へ」
金ケ瀬小学校
スマホ スリー ストップ STOP1 STOP2 STOP3
使いすぎ 悪用 トラブル 大河原中学校
「Think carefully, Protect yourself ~情報に疑いの目を持って~」
金ケ瀬中学校

第2回 スチューデントサポーターサミット経緯



上記の案が各学校から出され、どのスローガンにしたら良いかグループになって話し合い、多数決によって絞られ、案を修正して「おおがわらデジタルメディアスローガン」が決定されました。決定した裏面のスローガンを心に留め、努力していきたいものです。その後、講演会を行いました。

メディアコントロールとは

- メディア依存症と愛着障害を生まないために -
東北大学病院小児科 植松有里佳氏

昨年に続き東北大学病院小児科 植松有里佳先生にお願いし、講演をいただきました。先生は、2つの症例を基にメディア依存症と愛着障害について丁寧にお話しいただきました。その多くは、毎日の生活習慣を改めると改善することができるというものでした。スマホ、ゲームやテレビ視聴を含めたトータルのメディア視聴を制限することが、大切であると同いました。右の小児科学会の提言や米国小児科学会の提言を示され、実際の症例を紹介いただきながら聞くことによって、参加者は、我が事として聞き入っていました。講演終了後も、たくさんの感想や質問を受け、先生は、一つ一つに丁寧に答えられていました。この内容を、少しでも早く保護者に伝えるために先月、裏面のような緊急提言をださせていただきました。ご覧ください。

最後に、鈴木洋教育長が、ICTの活用は世界の潮流であるが使い方を律しようと考え「スローガン」を作り上げたことに意味がある。これから、各学校、各家庭で実践していくことが大切になっていき、来年度の「つどい」で検証できるようになることを望みたいと講評を述べられました。結びに、大河原町PTA連合会会長 清水 亮太様から閉会のあいさつをいただき終了しました。

メディアに関する日本小児科医会の提言

- 2歳までのテレビ、ビデオの視聴は控えましょう。
- 授乳中、食事時のテレビ、ビデオの視聴はやめましょう。
- 全てのメディアへの接触する総時間を制限すること。
2歳以上のお子さんは一日2時間まで。テレビゲームは一日30分まで。
- 子ども部屋には、テレビ、ビデオ、PCを置かないように。
- 保護者と子どもでメディアを上手に利用するルールを作りましょう。

米国小児科学会の提言 2016年

- 親のメディア視聴
親が子どもがいる部屋でテレビをつけっぱなしにしておくことは、親子のやりとりを減らし、子どもの遊びから気をそらしてしまう。
- 親がスマホを頻繁に使用すると、親と子の間の言語的、非言語的コミュニケーションが減り、親子対立が増える。
- 親のメディア習慣が、子のメディア習慣を決める。

令和6年12月

緊急提言

-こどもの健やかな成長のために 今できることを-

大河原町教育委員会

教育長 鈴木 洋

大河原町校長会会長大河原小学校

校 長 杉山 義隆

大河原町子ども会育成会協議会

会 長 竹川 貴子

大河原町 PTA 連絡協議会会長大河原南小学校父母教師会 会 長 清水 亮太

大河原町では、平成27年に緊急会議を開き、『「おおがわらルール」・午後9時以降は、携帯・スマホ・ゲームをしません』を基に取り組んできました。平成28年には児童・生徒用、保護者用の「おおがわら宣言」を作成しました。約10年後の今年「おおがわらデジタルメディアスローガン」を町内小中学校の児童生徒、保護者、地域の代表者で取り決め、12月14日(土)「明日青のつどい2024」で右のスローガンを発表しました。全員が覚え実践していきたいものです。

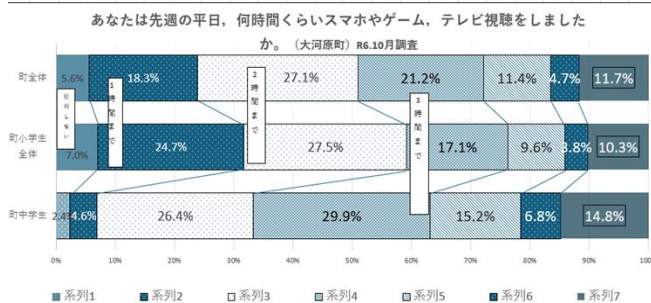


その後、東北大学病院 小児科 植松有里佳医師より講演をいただきました。その中で保護者全員に知っていただきたいことを緊急提言としてまとめ、お知らせいたします。

メディアに関する日本小児科医師会の提言

- 2歳までのテレビ、動画の視聴は控えましょう。
- 授乳中、食事中のテレビ、動画の視聴はやめましょう。
- 全てのメディアへの接触する視聴時間を制限すること。
2歳以上のお子さんは1日2時間まで。テレビゲームは1日30分まで。

大河原町小中学生のメディア使用時間と睡眠時間



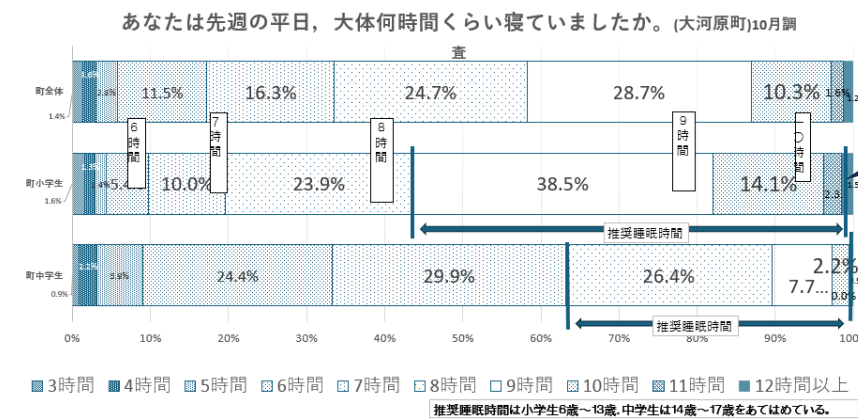
- 子ども部屋には、テレビ、ビデオ、PCを置かないように。
- 保護者と子どもでメディアを上手に利用するルールを作りましょう。



小中学生のテレビを含めた使用時間は、5割が2時間以内、3割弱が4時間以上です。5時間以上も中学生の15%程度、小学生の10%が長時間使用をしています。

子どもの健やかな成長のために必要なこと

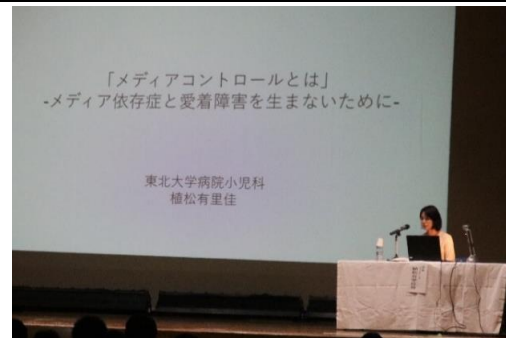
- 長時間のメディア視聴が及ぼす影響を知って下さい。
- メディア時間を減らすには、まず睡眠時間の確保が親子ともに必要です。



約50%の小学生は推奨睡眠時間(9時間)がとれている。

約35%の中学生は推奨睡眠時間(8時間)がとれている。

- メディア時間を減らすというよりは、親子で遊んだり実体験を増やしたりすることを考えましょう。
- 年齢の低い時期から取り組むことが、何より大切です。
- 次世代教育(これから父親や母親になる子どもたちへの教育)が必要です。



植松先生は、講演後もたくさんの質問に丁寧に答えられていました。学校では、「おおがわらデジタルメディアスローガン」をもとに各校で子どもたちが考えた取組を実践していきます。大河原町民、各家庭でも上記の内容を参考にしながら、すぐにできることから実践して下さいますようお願いいたします。まずは、家族みんなで模範を示し、子どもたちに教えていくことが大切です。



就寝時間の目安
乳幼児期:20時半
小学校低学年:21時より前
小学校高学年:21時半

睡眠時間の目安
1-2歳:11-14時間[※]
3-5歳:10-13時間[※]
6-13歳:9-11時間[※]
[※]乳幼児は昼寝も合計した時間